



ネイチャーぼうけん&防災キャンプ(九州エリア)2022年度実施報告

◆実施概要

キャンプテーマ	うみとひかりのぼうけん
日程	2022年11月26日(土)~27日(日)
会場	あしきた青少年の家 〒869-5454 熊本県葦北郡芦北町鶴木山
参加者合計	56名
(内訳)こども	38名(内被災経験世帯 8名)
スタッフ	4名
ボランティア	11名(ルイジアナ・カザフスタン・フィリピン・モンゴル・ミャンマー・ネパール・トンガ)
バス運転手	3名

◆プログラム詳細

ペーロン船にのろう&ひかりのレスキューゲーム①



大きなペーロン船を動かす方法と、海上から遠くにいるレスキュー隊に気づいてもらう方法を学びました。15~16名ずつに分かれ、3艇で出発。各船に乗った指導員が、漕ぎ方と進み方のコツをレクチャーしてくれます。ペーロン船には2列に並んで座るので、左右のペアが同じ力で漕がないと想定通りに進みません。チーム一丸となって漕ぎ、大きな船が前進した時には、とても嬉しそうな子どもたちの様子が見られました。

ペーロン船&ひかりのレスキューゲーム②



その後、遠くにいるレスキュー隊に気づいてもらう方法を実践。船の上で鏡を使って太陽光を反射させる練習をしました。どの向きなら届くかを色々試すうちに「光って遠くまでいんだね」と、光の届く距離と速さを体感したようです。

ひかりのたんていだん&キラキラ・ナイト



ペットボトルとカラーセロハンを使いステンドグラスを作ります。真っ暗な部屋で、水を入れたペットボトルに光をあてる実験も行いました。光が水に反射することで、懐中電灯1つでも周りがパッと明るくなります。「わあーきれいー！」と驚きの声が上がっていました。また、ワークシートを使って、光についての学習も。「なぜレスキュー隊に知らせるとき、音ではなく光を使うのか?」「なぜ浅瀬と沖では海の色が違って見えるのか」など、今回の体験をもとに、さらに理解を深めました。

国際交流



地図や写真を見せながら、ボランティアが出身国について話していきます。ルイジアナの綺麗な街並みや、モンゴルの意外な広さや人口密度の1番低さ、トンガの紙幣など、はじめて見ることや知ることばかりです。1泊2日のキャンプを共にしたボランティアスタッフは、子どもたちにとって友達のように親しみを感じる存在。その多様なバックグラウンドを学ぶことは、異文化をより身近に感じられる貴重な経験となったようです。

